

# 令和2年度 会館だより 第2号

コロナに負けないで今私たちは

岩手県学生会館

令和2年8月11日発行

## コロナ禍にあって感謝！

全国いや全世界でコロナの猛襲が続いています。そんな中、会館に手を差し伸べてくださる方々がいらっしやいます。

まず、達増知事さんからのメッセージです。県外在住の学生に向けたもので、会館にも掲示してあります。その中で知事は「岩手を離れて学ばれていることは、将来の皆さんの自己実現、そして社会のために必要なことです。厳しい時期だからこそ、将来のことをしっかりと考えてほしいと思います。」とエールを送っていただきました。(全文は最後)

次に、岩手県東京事務所長からのご飯、お米の提供がありました。早速ロビーに置いて学生に配布いたしましたがレトルトのご飯は思っていた以上に早く売れ切れてしまいました。ほとんどの学生には炊飯器具がないため米は申し出制にしましたが、思いの外欲しがる学生も多く、その都度提供しています。ありがとうございました。



盛夏の候、高橋所長様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度はたくさんのお米をいただき、誠にありがとうございました。早速皆で奪い合うようにして頂き、胃袋に収めました。

近頃は新型コロナウイルスの話題で持ち切りですが、幸

いにも現在、当会館から感染者を出すこともなく学生一同元気に暮らしております。

ただ、今年度の新入生が未だに学校に通うことができなかったり、また会館全体での行事を催すことができないなど、例年どおりの活動は今のところできておりません。貴事務所からいただいたお米を食べて、岩手県民として全員健康なままコロナ終息まで耐え抜ければと思います。

最後に暑さ厳しき折、皆様方の無事息災を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございます。

岩手県学生会館自治会

前会長 林 大晏

(7月27日発送)

## 私たちの日常

それでは一部ではありますが、学生の皆さんから日常を紹介してもらいます。お互いに力を得てほしいものです。

千田隆真

新入生として一番最初に入寮してもうすぐ3ヶ月が経とうとしている。オンライン授業ということもあり膨大な課題に追われる日々、ビデオ使用型の授業でないため音声または資料とにらめっこをする日々嫌気がさします。そんな中毎日の楽しみは中学、高校の時の友人と通話やゲームを共にすることです。先の見えない不安の中楽しみを探しながら過ごしています。

寮に知り合いがいなかったため名前もわからない人ばかりです。顔合わせする機会もなかったため同期が誰かもわからず話しかけようにも話しが合うだろう話題もわからず友人一人作れず時間が過ぎました。状況が早く好転し、寮の人たちと交流することができる日をとて楽しみにしています。寮生活で一番楽しみにしていた寮生との交流や買い物は全くなく、部屋に籠りっぱなしで膨大な課

題を消化し、娯楽に時間を費やす最初だけ楽しい生活でもうつまらなくて仕方がないです。外には、お昼ご飯や日曜日のための食料の買い出しや早朝ランニングくらいしか出ていません。毎回同じ場所にしか買い物へ行っていないので、コロナが収まり日常が戻ってきて同期が入寮してきた時には一緒に周りを見に歩き回りたいです。私はラーメンとハンバーグが好きなので周辺にあるラーメン屋全てを回ってみたいです。状況が好転し、入寮をする時には休みの日に色々なラーメン店に入りたいです。面接の時に話した人や同じ日程で面接をした人など様々な寮生との交流が楽しみです。

入寮していない人や帰省したまま地元で過ごしている人が多くいつも同じ人しか見ていないような気がします。人数の少ない中唯一食堂のおばちゃんが名前と顔を覚えてくれて‘おはようございます’の挨拶から始まる1日が救いです。挨拶という些細なことでも元気をもらっています。いつもと同じ時間に起きてこなかったときには心配もしてくれます。寮生活の不安は食堂の人たちのおかげですぐに消えました。本当にありがとうございます。

コロナの影響でこのような状況が続いていますが、共に寮生活を楽しく過ごせる日が来ることを楽しみにして体調管理を徹底し、今は耐え忍んで過ごしていこうと思います。

#### 工藤真聖

新型コロナウイルスの影響で学校が休校になったのは3月の頭で、私はその時期は試験勉強から就職活動に切り替えた直後という状況でした。本来なら、3月から複数の企業の説明会に行く予定でしたが、予約していた説明会は軒並み中止または延期になり、選考が止まったため活動が滞ってしまいました。webでの説明会や面接が4月頃からは行われるようになり、やっと活動を進められると思いましたが、今度は面接に苦しめられることになりました。私は元々会話が苦手で、会話をしないような生活をしてきた影響で、文章を作り込んでも思うように話せず、面接で落ちるということが続きました。6月から学校が再開し、授業を受けながら就職活動をし、内定を貰うために頑張っています。

世間を見ると、街の雰囲気は様変わりし、どこに行っても新型コロナウイルスの文字を見るようになりました。私はコロナ対策として手洗い・うがいを徹底して外に出るときは必ずマスクを着けるようにしています。慣れない生活が続きますが、これからも自分の目標のために頑張っていきたいと思っています。



#### 早くみんな揃って歓迎会を

#### 細谷理功

大学の前期授業はオンラインも活用しながらなんとか終え、ようやく一息つけると思った矢先の感染者増加でなかなか落ち着かないこの頃です。大学は新宿にあるため登校するのも少々不安がありましたが、夏休み明けもしばらくはオンラインになるとのことで少し安心しています。岩手でもついに感染者がでてしまったようですが、今年は帰省しないのが良いと考えています。万が一自分がさらに広めてしまうなどということになるかと思うと何よりも家族が心配でなりません。しかし今は自分の心配をすることですばらくは落ち着いて過ごそうと思っています。ちなみに最近の暇つぶしはサンシャイン下のBOOKOFFで100円マンガを読み漁ることです。

#### 豊泉花

私が進学した上智大学は、一部の実習を除き、秋季一杯のオンライン授業の実施が決定しました。所属している新聞学科では、9月中にテレビ番組制作の実習が行われる予定でしたが、秋以降も行われぬ方向で話が進んでいるそうです。詳細が決

まり次第、追って連絡させていただきます。今後の状況次第で変更があるかもしれませんが、現段階では二月以降まで上京できそうにありません。会館の方々には、度重なる入寮延期の希望を許して



### 夏休み前慰労会

こういうこともしていました。落語会！

くださり大変感謝しております。これまでも大変ご迷惑をお掛けしてきましたが、来年以降からの入居を許していただければ幸いです。

私は、将来就きたい職業がまだ明確に定まっておらず、大学四年間がその希望を叶えることができる最後のチャンスだと思っていました。そのため、勉学に加え、企業インターンや、本格的なサークル活動など挑戦してみたいことがたくさんありました。春季のオンライン授業期間は、八月までの辛抱だと思い、勉学に励む他、外出も控えて秋に備えた準備を行っておりました。しかし、秋季以降のオンライン授業が決定し、将来に対する不安や、大学生活の内1年間という期間を奪われてしまったという悔しさがあるのが正直なところでした。秋季の授業に関する連絡が入って以降、非常に落胆した日々を過ごしておりましたが、いつまでも落ち込んでいても何かが変わることもありません。この夏休み期間に、アルバイトでお金を貯めて、秋季授業期間は大学生活で行いたいと考えていたことに取り組みもうと思っています。これまでの私の人生では、やりたいことを周りの環境が許さないという経験をしたことはありませんでした。しかし、うまくいかないことのほうが多いということを経験し、このような環境下でも行動を起こせるよ

うに努力したいです。もし、入寮延期を許していただければ、来年以降の会館での生活に期待し、生活を送りたいです。

学生会館で、岩手県民の皆さんと生活できる日をとても楽しみにしています。ついに岩手県内にも初のコロナウイルス感染者が確認されてしまいました。皆さん、どうか健康にお気をつけてお過ごしください。

田口慈江

関東ではようやく梅雨が明け、夏本番を迎えていることと思います。

私が通っている大学は、新型コロナウイルスの影響で、前期の授業が全てオンラインとなりました。現在大学3年生ですが、3月下旬から盛岡市の実家で生活しています。最初はパソコン上での授業が新鮮で、対面よりも気に入っていました。しかし、平日朝から夕方まで画面に向かっていてどうしても疲れが溜まり、以前の学生生活が恋しいのが正直なところでした。大学は現時点で、後期の授業では対面とオンラインを併用していくと発表していますが、全国の感染者が増え続ける中、対面授業が実現するかはまだ定かではありません。

私は昨年一年間休学し、奨学金団体の海外研修制度を利用して、フィリピンに留学しました。以前から途上国の貧困問題や教育格差に関心があり、現地に長期間滞在して自分の目で現状を知り、何ができるのか、これから自分がどんなスキルを身につけるべきなのかを学びたいと考え、留学を決定しました。現地の大学で勉強し、NGOや新聞社でインターンをするなど多くの経験をさせていただきました。今年の1月に帰国し、より学びを深め、日本でも自らの関心分野にアプローチしたいと意気込んでいた矢先に、日本でも新型コロナの感染が確認されました。外出自粛で人と会う機会が減り、イベントなどへの参加もできないなか、正直自分のモチベーションを維持することは困難でした。しかし、この状況でも自分自身を成長させることができるかと気持ちを切り替えて、オンラインでできることを探し、新しいことに挑戦しています。

感染症の拡大が落ち着き、今までの日常が戻ってくるにはかなりの時間がかかることが予想されます。これから数年間は、with コロナ時代を生き

ていかなければならないことを念頭に置いて、残りの学生生活、そして自分の将来を考える必要があると思っています。当初は大学院への進学を中心に考えていましたが、現在は就職も視野に入れており、今後も予想外の事態が発生した場合に柔軟に対応できるよう、選択肢を増やしていきたいと考えています。そのために、今まで以上に勉学に励み、最終的には自分の夢に様々な角度からアプローチできるように努力していきたいです。

#### 中野千景 「私の日常」

4月に上京してから約4か月が経ち、外出自粛の中だったが東京での生活にも慣れることができた。今回、「私の日常」というテーマのもと、原稿依頼を頂いたので、ありがたく執筆させていただきましたと思う。

平日はオンライン授業を受け、寮の友達と一緒にご飯を食べる。夜は課題をしてラジオを聴くといった平坦な生活を送っている。休日は、課題と趣味に時間を費やし、時には買い物に出掛けるといった、自分なりに充実した一日を送っている。大学に通うことが出来ていないため同じ大学の友達はまだ少ないが寮で出会った友達が近くにいることで、楽しく会話し、笑い合える人がいる。これこそ、寮の魅力であろう。

そんないたって普通の生活を送っている私であるが、東京に来てから変化したことがある。それは、自主性が増したことだ。実家では、親に頼ることが多く自分から行動を起こすことが少なかったが、自分のことは自分でやらなければならないという環境が自分を成長させてくれているのだと思う。又、地元には一風変わった行動をすると目立ってしまうため、人と違う行動をとることに對して引け目を感じていた。しかし、東京では様々な人が各々の個性を尊重し合いながら生きている。だから、小さいことや人目をあまり気にせず、好きなように行動を起こすことが出来る。逆に言うと、自分から何かをしていかないと何も始まらないのである。今の環境は、意志や物事への興味、やる気さえあればより一層自分の行動力を高めてくれる場所だと感じている。逆に、マイナスに変化してしまったこともある。それはスマートフォンの使用時間である。高校生の時は、一週間くらいなら一切

充電しなくても問題なく生活できていた。しかし、今はほとんど毎日充電するようになってしまった。オンライン授業でスマホとパソコンを使うことも関係しているかもしれないが、今までと比較すると明らかに使用時間が増えている。主に動画やラジオ、ゲームといった目的で使用しているが、少し使い方を見直してみようと思う。例えば、寝る前の使用を控えたり日中の使用時間制限を決めたりすることで、自分を律していきたい。

このように、親元を離れて生活することは良くも悪くも何かしらの変化をもたらす。行動次第で大学生という期間に大きく成長することが出来る。今の時期(7月下旬)は、まだ入寮していない方も多いが、寮の皆さんのサポートのもと、東京で生活することはとても楽しい。是非期待を膨らませ、安心して上京してほしいし、寮の仲間が増えることを楽しみにしている。



これも今頃の楽しみ

#### 武田翔太

現在の自分の状況は、平日はオンライン授業を受けて、テレビを見て課題をやって、一日が終わってしまうことがほとんどです。月が終わるごとに「あ～今月も何もしないでおわってしまった～」毎月思いながら過ごしていました。そのくらい、中身の無い日々を半年間過ごしてきたと思います。高校生活の中であまりやらなかったテレビゲームにはまってしまい毎日ゲームをして、ゲームのコツなどをつかみかけてきた状況でもあります。バイトも始めました。バイトを始めて3か月ほど経ちましたがなれないことも多く、少し大変ですが、

人との長時間持てる機会でもあるため、楽しくも感じます。貯金したお金で初めてインターネット通信機器を買いましたがコロナの影響もあり手元に来るまでに1か月かかるということで少し不満も感じますが、自分で稼いだお金で物を買うことの苦労や達成感というものを感じられてよかったなとは感じました。今後の見通しは、まだコロナの影響で学校に行けず引き続きオンライン授業という形になっています。状況が変わり次第変更する可能性もあるとっていました。そのためバイトも引き続き続けていくつもりです。個人的な今後の見通しとして、まずダラダラ生活を卒業しようと考えています。コロナの自粛中に何かにチャレンジしたりすることをしなかったのをとても後悔していたからです。ちなみに自粛期間中にはNiziUというアイドルグループのファンになってしまい



### 今年は祭りも中止

ダンスを覚えようと練習していました。ダンス初心者であるため全然踊れませんが曲の1番のダンスは踊れるようになり、ダンスの魅力に少し触れていました。話は戻って具体的に体をうごかすことと勉強を頑張ろうと考えています。最近プロ野球を見ることにはまってしまい野球が少しでもできるようになりたいと思ったからです。そのため筋トレやボールを投げる練習をして、草野球ができるようになればいいなと考えています。また勉強は社会勉強です。バイトをしながら自分の常識のなさを身にしみて感じたからです。経験日数を増やすだけでなく、パソコンのスキルや言葉遣い、時事事項に少し目を向けて社交性を付けたいと考えています。最後に、今考えていること

は、後期こそ一皮むけようという事です。公言したこと内に秘めていること学校の課題、運動なんでもやろうという気持ちで頑張っていきたいと思います。深刻になるな、真剣になれで頑張ります。

### 匿名希望 「コロナと今」

新型コロナウイルスの影響で、去年までの日常とは一変した日々を過ごすことを余儀なくされています。授業は原則オンライン形式となり、大量の課題、大量の期末レポートに追われて、ただでさえ外出できない上に休日も課題に取り組むことが多くなり、多くの他の大学生と同じように、かなり減入っているような気がします。ついこの前、後期の授業も一部を除いて原則オンライン形式という発表があり、対面で実施する授業を確認した結果、後期も大学に授業を受けに行く事は無いと知り、また減入りました。はたして、今年度が終わるまでに、何回気を落とすことになるのでしょうか？そんなことを言ってもどうにもならないと分かっているのですが、なかなか課題を進める気にもならず、自分の無力さを思い知らせてまた落ち込む、というのがオンライン授業受講のルーティーンの一つとなってしまいました…。徹夜も増えた気がします。(←ダメですよ笑)

嘆いてばかりいてもどうにもないので、少し違う話をします。先日、用事で半年ぶりくらいに大学のキャンパスに向かいました。健康診断期間ということもあったからか、思っていたよりも人がいて驚きました。用事を済ませて、帰り道の途中、大学の最寄り駅のすぐそばに何台かのキッチンカーが停まっていた、営業していました。学食でお昼ご飯を食べた後だったので買いませんでしたが、まだお昼を済ませていなかったら買っていただろうな、と思います。キッチンカーはテレビでは見たことがありましたが、生で見たのは初めてでした。コロナの後、家賃がかからなかったり、いわゆる「3密」を防げるとのことで、はやっているそうです。前から興味はあったので、今度見かけてメニューがおいしそうだったら、試してみようかなと思います。笑

また、オンライン授業が始まってから、Zoomなどのウェブ会議システムや、GoogleDriveなどを使

い始めました。Google Drive に関しては分かりませんが、Zoom などについては、オンライン授業が無ければおそらく使うことはなかったと思います。対面では難無くできることがうまくできず、もどかしさを感じることもあります。PC 画面の共有など、対面よりもやりやすいことがあるのも事実だと思います。夏休みは友だちとオンライン飲み会で使う予定です。笑

こんな感じで、コロナによるマイナスな事も確かに多いですが、同時にプラスな事もありました。ある意味、今しかできないことをうまく楽しむことも大切なのかな、なんて思いつつ、今日も課題に追われ対応することになりそうです。

#### 匿名希望 近況報告

現在、実家に帰ってきて、かれこれ6ヶ月程経ちました。早いです。私と同じく東京の大学に通っている地元の友人で新型コロナウイルスがどんどん流行してしまい帰って来れなくなり、地元の家族や友達と会えない日々が続いてる人もいます。そんな帰りたくても帰れない学生さんがたくさんいる中で、私は、そこまで流行らないうちに岩手に帰って来れたことに感謝しなければいけないなど感じています。大学の授業も、1学期に引き続き、2学期もオンライン授業となってしまいました。大学に通えないのに加え、今年は授業のコマも少なく、自分は本当に大学生なのかと何度も思ってしまうような状況が続いています。(課題はそれなりにありますが・・・)授業を受けるとは言っても家でできるので、毎日休みのような感覚です。毎日、同じようなことの繰り返しで1日があっという間に過ぎてゆきます。東京での日常を過ごしていた時は、全く感じていませんでしたが今この状況になって、大学を含め、身の周りからの様々な刺激は、私にとって本当に大切なものだったんだと日々感じています。これからの見通しも全くわかりませんが、東京に戻る理由もないので今は大人しく実家にいようと思います。(コロナの状況をみて東京に戻れそうだったら戻りますが。)こんなに長い時間を家族と共に過ごすのは高校生の時以来です。実家では、私の部屋はほとんど使わず物置きにされているため、大半の時間を家族と共有の空間であるリビングで過ごすことが多いです。高校まで

はそんな生活が当たり前でしたが、大学生で一人暮らしを経験したため、自分1人のプライベートな空間や時間がないのは正直、なかなか辛いものがあります。そろそろ東京に戻りたいという気持ちが日々強くなっています。とは言っても、感染はしたくないので引き続き、実家でしかできないこと(料理など)をしたり、家族や友人と過ごす時間を大切にしたいです。そして、岩手にも感染者が出てしまい、どんどんコロナが近づいてきてると実感しているので、基本的な感染対策をしつつ岩手ライフを精一杯楽しみたいと思います。



#### この方も来てくれました

##### 村松雅俊 コロナ禍での学生生活

現在、世界各地で新型コロナウイルスの感染が拡大し、私たちの生活にも様々な影響が出ています。大学はオンライン授業が主流になり、大学の友人にも会うことができません。また、外出を控えて部屋に長くいるために運動不足を感じるようになりました。そして、ふるさと岩手への帰省もままならない状況です。友人には就職活動に影響が出ている人や、アルバイトに行くことができず学費を払うことができなくなった人もいて、流行のできるだけ早い終息を望むばかりです。そういった苦しい状況の中でも、学生会館の中の生活にはあまり変化がありません。今まで通り、温かい食事を頂くことができますし、お風呂も毎日使うことができます。新型コロナウイルスが流行し始めた三月、四月ころはもしかしたら学生会館が閉鎖されるのではないかと不安に思うこともありましたが、しかしそのようなことはなく、私は今まで通りの寮生活を送ることができています。学

学生会館を運営するにあたって様々な議論があったとは思いますが、それでも東京で暮らす学生のために運営を続けてくださったことには、感謝しかありません。消毒液の設置など、私たちが今まで通りの生活を送るために尽力してくださっている館長さん、寮母さん、食事の提供をしてくださっている食堂スタッフの皆さん、また浴場や館内の清掃を行ってくださっている清掃スタッフの皆さん、本当にありがとうございます。私たちの学生生活が、様々な人の尽力によって支えられているのだと、改めて感じました。

そういった人の温かみに触れる中で、私なりの発見もありました。それは、普段の私たちの日常がいかに奇跡の連続で成り立っているのかということです。大切なものは失ってから気づく、というのは手垢のついた言葉ですが、このコロナ禍の状況に至ってようやく、普段の何気ない日々が、かけがえないものだったのだと気づかされました。仲のいい友人と遊びに行くこと、大学で学友と机を並べ講義を受けること、長期休暇になれば帰省して母親の手料理が食べられること、理容師の父親に髪を切ってもらえること、そういった今までは気にも留めなかった些細なことが、今となっては手が届かないものになってしまいました。友人や家族とは通話アプリを使って連絡を取ることしかできない現状ですが、そういった日常の一瞬一瞬を大切にしていきたいと思います。



**楽しさ爆発！！  
OB・OG 交流会**

**令和2年度**

**公益財団法人岩手県学生援護会役員決定**

評議員を務めていただきました岩手日報東京支社長鈴木淳様の異動に伴う役員補充について、理事会では後任の阿部典彦様を推薦し、それを受けて評議員会では書面による決議がなされました。

また、岩手県の人事異動により総務部長に白水伸英様が就任されたことから、本会の相談役に新たに就任していただきました。

さらに評議員には岩手銀行東京営業部長の岩山徹様、相談役には青木幸保平泉町長様に昨年度から就任頂いておりますが途中からでしたので改めてご紹介申し上げます。

これで正式に令和2年度の役員が揃いましたのでここに紹介いたします。

◎代表理事

松橋 公治 (明治大学教授)

○副代表理事

太田 知行 (在京岩手学生会会長代行)

○業務執行理事

砂金 良明 (元東京放送総務部長)

○理事

瀬川 爾朗 (東京大学名誉教授)

佐々木裕二 (岩手県学生会館館長)

坂本 已由 (社会福祉法人評議員)

○評議員

阿部 典彦 (岩手日報社東京支社長)

岩山 徹 (岩手銀行東京営業部長)

柴田彩千子 (東京学芸大学准教授)

小野寺麻利子 (作家 藤沢摩彌子)

及川 良一 (大学入試センター参与)

永田 浩一 (全国通運代表取締役社長)

村井 雄一 (JA 共済連 IT 企画部長)

○監事

高橋 達也 (岩手県東京事務所長)

千葉 健夫 (社会保険労務士)

○相談役

谷藤 裕明 (岩手県市長会)

青木 幸保 (岩手県町村会)

白水 伸英 (岩手県総務部長)

佐藤 博 (岩手県教育長)

○顧問

志賀かう子 (エッセイスト)

鈴木 勲 (日本弘道会会長)

**学生会館職員**

- ◎館 長 佐々木裕二
- 寮 母 佐々木由美
- 書 記 樺澤理恵子

**主たる委託業者**

- ・建物包括管理 二幸産業株式会社
- ・給食業務 株式会社グリーンハウス
- ・日常清掃 東京管財株式会社

《達増知事からのメッセージ》

岩手県外で学生生活を送っている  
岩手県出身学生の皆さんへ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、学生の皆さんもどのように暮らしていけばよいか不安を感じていることと思います。皆さんのふるさと岩手でも、不要不急の外出の自粛、他県からの帰省や旅行を控えていただくことを呼びかけながら、オール岩手で一丸となって、まん延防止や地域の経済・雇用の維持に取り組んでいるところです。

今は不自由な日々が続いていますが、皆さんが岩手を離れて学ばれていることは、将来の皆さんの自己実現、そして社会のために必要なことです。厳しい時期だからこそ、将来のことをしっかりと考えてほしいと思います。

県では、皆さんが将来を考えるに当たって、ふるさと岩手での就職も視野に検討していただけるよう、WEBでの企業説明会を予定しているほか、日本学生支援機構の奨学金を受けて大学等で学んでいる学生の皆さんが、卒業後、岩手県内の企業に就職した場合に奨学金の返還を支援する制度を設けるなど、皆さんの未来を応援しています。新型コロナウイルスの感染拡大が収束する時期は必ずやってきます。今の時間を有効に活用し、しっかりと学びを続けてください。

岩手県知事 達増 拓也

**会館からの連絡**

**◎在寮期間延長について**

例年、空室が相当数見込まれる状況においては在寮期間(2年)を延長することが認められます。該

当者には案内を配布しましたのでご覧ください。申し込み締め切りは9月26日(土)です。封書が入っていない方で希望する方は事務室まで。

**◎県の雇用労働室からのお知らせ**

県外大学に通う岩手県出身学生に県内での就活応援費用2万円を支給します。詳しくはチラシ、もしくは「いわてとつながろう!Uターン就活応援助成金」受付窓口まで。

**◎郵便物等について**

長らく帰省している方で、郵便物等がたまっている方がいます。必要なら転送しますので申し出てください。

**編集後記**

原稿をお寄せくださった皆さん、ありがとうございました。中には試験中の多忙を極める時期にもかかわらず協力いただき、申しわけありませんでした。

現状はやるべきこと、したいことができないものどかしさを感じて悶々としている様子ですが、嘆いてばかりでもしょうがありません。今できること、今しかできないことを見つけてみたらどうでしょうか。成長するためには通らなければならない深い内省は今こそではないでしょうか。

しかし、なぜ大学だけがこんなに慎重なのでしょう。確かに学生が引き起こしたクラスターなるものもあったようですが、それを再び引き起こすリスクと、学生たちが大学から受けるはずのものを受けられない損失はどちらが大きいのでしょうか。比べることができないものなのかもしれませんが、おそらく一生に一度のものを経験できないで過ぎていく人生、それも人生だと言えど人生でしょうが、なにか切ないものがあります。全力を振り絞って大学生活を送る!そんな日々が待ち遠しいものです。

もう少し、もう少しと言いつつ、皆で乗り越えましょう。

令和二年八月十一日発行	
編集並びに発行元	公益財団法人岩手県学生援護会
	岩手県学生会館
	同 学生自治会
住 所	東京都豊島区要町二丁目5番5号
t e l	03 (3972) 4783
f a x	03 (6676) 4471